

がん対策審議会 子ども・AYA世代部会	(県) 参考資料
令和4年2月1日(火)	2

令和元年度小児がん診療に関する医療機関実態調査について

1 調査の目的

小児がん患者とその御家族及び小児がん経験者の方が可能な限り慣れ親しんだ地域で治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくための基礎資料として、県内の医療体制の実態を把握する。

また、医療体制の実態を正確に把握するための定期的な情報の確認と更新として、調査を継続していく。

2 実施主体

千葉県

3 調査対象

千葉県内の下記施設に該当する30施設（別紙参照）

- ・日本小児科学会専門医研修施設
- ・日本小児血液がん学会研修施設
- ・千葉小児整形外科グループ施設
- ・TCCSG 参加施設（千葉県内）
- ・ちば医療なび/目的別検索/小児悪性腫瘍（小児がん）該当医療機関

4 調査期間

令和元年7月30日（火）～8月30日（金）

5 調査方法

- ・調査票を郵送し、郵送又は E-mail にて回収
- ・調査事項は別添調査票のとおり

6 調査結果

- ・ホームページにより公表
- ・県内小児がん診療のネットワーク化に向けた課題検討資料とする。

調査対象医療機関一覧

〔日本小児科学会専門医研修施設〕 23

- 1 東京ベイ浦安市川医療センター（支援施設）※
- 2 医療法人財団 東京勤労者医療会 東葛病院
- 3 千葉西総合病院
- 4 東京女子医科大学附属八千代医療センター（支援施設）
- 5 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院（支援施設）
- 6 社会医療福祉法人社団 千葉県勤労医療協会 船橋二和病院
- 7 日本医科大学千葉北総病院
- 8 千葉県こども病院（支援施設）
- 9 帝京大学ちば総合医療センター
- 10 千葉市立青葉病院
- 11 東邦大学医療センター佐倉病院
- 12 独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院
- 13 船橋市立医療センター（支援施設）
- 14 国保直営総合病院 君津中央病院
- 15 総合病院 国保旭中央病院（支援施設）
- 16 成田赤十字病院（支援施設）
- 17 松戸市立総合医療センター（支援施設）
- 18 千葉市立海浜病院（支援施設）
- 19 独立行政法人国立病院機構 下志津病院（支援施設）
- 20 東京歯科大学市川総合病院
- 21 千葉大学医学部附属病院（支援施設）
- 22 順天堂大学医学部附属浦安病院（支援施設）
- 23 東京慈恵会医科大学附属柏病院

※ 「研修施設」とは、初期臨床研修を終了した後、3年以上の小児科専門医研修を実施出来る態勢を整えている施設です。その中で、指導体制が特に整っている施設は「研修支援施設」（以下、「支援施設」とよびます。）になることができます。「支援施設」は本来の「研修施設」としての役割に加え、他の「研修施設」のカリキュラムを支援することも要求されます。実りある小児科専門医研修を実施するために、「研修施設」は「支援施設」と連携し、3年以上の小児科専門医研修期間のうち、延べ6か月（最低1か月単位）以上の研修を「支援施設」で行う研修カリキュラムを作成し、実行することが求められます。

＝以下、日本小児科学会専門医研修施設を基にし、追加となる調査対象施設に◎印をつけています。＝

〔日本小児血液・がん学会研修施設〕 4

- 1 千葉大学医学部附属病院
- 2 成田赤十字病院
- 3 日本医科大学千葉北総病院
- 4 千葉県こども病院

[千葉小児整形外科グループ施設] 6 (◎3)

- 1 千葉県こども病院
- ◎2 千葉こどもとおとなの整形外科
- 3 千葉リハビリテーションセンター
- ◎4 千葉県がんセンター
- ◎5 聖隷佐倉市民病院
- 6 松戸市立総合医療センター

※ 「千葉小児整形外科グループ」は、県内の小児整形外科疾患を扱う複数の施設をひとつのグループとし、より有機的に小児整形外科の診療・研究・教育を行い、円滑で効果的な医療の提供を目的として平成25年4月に設立されたグループである。

[TCCSG (Tokyo children's Cancer Study Group) 参加施設] 7

- 1 千葉大学医学部附属病院
- 2 成田赤十字病院
- 3 松戸市立総合医療センター
- 4 帝京大学ちば総合医療センター
- 5 千葉県こども病院
- 6 日本医科大学千葉北総病院
- 7 亀田総合病院

[ちば医療なび/目的別検索/小児悪性腫瘍 (小児がん) 該当医療機関] 14 (◎4)

- 1 日本医科大学千葉北総病院
- ◎2 独立行政法人国立がん研究センター東病院
- 3 国保直営総合病院 君津中央病院
- 4 千葉県こども病院
- 5 東京歯科大学市川総合病院
- 6 成田赤十字病院
- ◎7 社会福祉法人 太陽会安房地域医療センター
- 8 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
- 9 千葉大学医学部附属病院
- 10 千葉県がんセンター
- ◎11 キッコーマン総合病院
- 12 帝京大学ちば総合医療センター
- ◎13 名戸ヶ谷あびこ病院
- 14 社会医療福祉法人社団 千葉県勤労医療協会 船橋二和病院

合計30医療機関

送付先：千葉県健康づくり支援課 がん対策班 子ども・AYA世代部会担当者 行

令和元年度小児がん診療に関する医療機関実態調査 千葉県

本調査は、小児がん患者さんとそのご家族及び小児がん経験者の方が可能な限り慣れ親しんだ地域で治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくための基礎資料とするため、県内の医療体制の実態把握を目的とし、平成27年度に第1回目の調査を、平成29年度に第2回目の調査を実施しました。

本調査結果については県ホームページで公表しています。

平成30年3月に策定した「第3期千葉県がん対策推進計画」では本調査を継続していくこととしており、このたび下記のとおり第3回目の調査を行いますので、調査の趣旨を御理解の上、御協力をお願いいたします。

【対象施設】

- ・日本小児科学会専門医研修施設 ・日本小児血液がん学会研修施設
- ・千葉小児整形外科グループ施設 ・TCCSG参加施設(千葉県内)
- ・ちば医療なび/目的別検索/小児悪性腫瘍(小児がん)該当医療機関

【調査期間】

- ・令和元年7月～8月
- 令和元年8月30日(金)までに郵送又はE-mailにて御回答ください。

◆以下の設問に御回答ください。

問1 医療機関名(施設名)・回答責任者

施設名			
所在地	〒		
電 話		F A X	
回答責任者	職：	氏名：	
E-mail			

問2 貴院は小児がん診療(診断、治療等)を行っていますか。

該当する箇所には○をして、次の設問へお進みください。

- () 小児がん診療(診断、治療)を行っている。 ➤以下の設問全てに御回答ください。
- () 小児がんの診断は行い、治療については、専門医へ紹介している。
➤問3,6,9,10,11に御回答ください。
- () 小児がん診療(診断、治療)は行っていない。疑いのある患者は診断も含め、専門医へ紹介している。
➤問6,9,11に御回答ください。

問3 小児がん診療体制について

※診療実績のある医療機関につきましては、
問7の診療実態調査に御協力ください。

実績のあるものに◎、対応可能なものに○

	白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ウイルス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他 *複数ある場合はセルを分けて御記入ください。
記入例	◎	○		○						
① 診断										
治療	② 手術									
	③ 放射線									
	④ 化学療法	ア 入院								
		イ 外来								
⑤ 主たる担当診療科 (例) 小児科・血液腫瘍科										

○問3の「その他」に該当する病名を御記入ください。

その他	(例) 卵巣悪性奇形腫 *複数ある場合は、全ての該当病名を御記入ください。
-----	---------------------------------------

問4 療養環境について

下記項目につき、記入方法・記入例により御記入ください。該当しない項目については空欄となります。

項目	記入方法・記入例	回答欄
面会時間	(例) 平日〇時～〇時まで 休日〇時～〇時まで	
面会可能者	○で囲む 他制限等を記入	両親 兄弟 祖父母 親戚 友人 []
面会制限の特例等	患児がターミナルの場合等の対応について記入	
付添い	○で囲む 他条件等を記入	不要・希望で24時間可能・24時間必要・夜間必要 []
入院可能年齢	(例) 〇歳～〇歳まで	
小・中学生への教育支援	有する場合○	分教室 ・ 訪問教育
院内学級	ベットの授業	可能であれば○
	通院患者の通学	可能であれば○
高校生への教育支援	有する場合○	分教室 ・ 訪問教育
院内学級	ベットの授業	可能であれば○
	通院患者の通学	可能であれば○
学習への配慮等	小児がん患児への配慮等について記入	
病棟保育	有する場合○	
保育士・公認心理師 臨床心理士 チャイルドライフボランティア (CLS) ホスピタルプレイスボランティア (HPS)	配属ありの場合○で囲む 配属状況 (例) 毎月第3木曜10時～17時	保育士 [配属状況:] 公認心理師 [配属状況:] 臨床心理士 [配属状況:] CLS [配属状況:] HPS [配属状況:]
認定看護師 専門看護師	小児科病棟等へ配属ありの場合○で囲む	緩和ケア ・ がん化学療法 ・ がん性疼痛 ・ がん放射線療法 がん看護 ・ 小児看護 ・ 家族支援
緩和ケアチーム	小児がん患者への対応ありの場合○	医師 ・ 看護師 ・ 薬剤師 ・ 臨床心理士 ・ 栄養士 ・ PT
	チーム構成に○ その他があれば、記入	[その他:]

問5 患者・家族支援について

相談窓口

名 称	例：がん相談支援センター、セカンドオピニオン外来、医療相談室		
電 話		ファックス	
メールアドレス			
対応できる相談内容	医療費・福祉制度・入院生活・就学・就労・セカンドオピニオン 家族、きょうだいの生活・退院後の生活・その他()		
対応可能時間	例：月、水、金 9:00～16:00(電話による問い合わせは、平日9:00～17:00可)		

下記項目につき、記入方法・記入例により御記入ください。該当しない項目については空欄となります。

宿泊施設	敷地内にあり◎、近隣にあり○ 代表的施設名 費用(有料・無料の別)	[施設名称:] 有料 ・ 無料
患児兄弟、姉妹の預かり施設	院内にあり◎、近隣にあり○ 費用(有料・無料の別)	有料 ・ 無料
家族休憩室	あり○ 利用条件等 費用(有料・無料の別)	[利用条件:] 有料 ・ 無料

問6 地域での医療連携

専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の診療、地域医療機関との連携について

* 下表①については、診療可能○

* 下表②については、紹介体制あり○

	①貴院での診療	②地域医療機関との連携			
		貴院から他院への紹介		他院から貴院への紹介	
		診療情報提供書等 文書での紹介	電話等 口頭での紹介	診療情報提供書等 文書での紹介	電話等 口頭での紹介
予 防 接 種					
風 邪 等 の 内 科 的 症 状					
け が 等 の 外 科 的 治 療					
そ の 他 歯 科 治 療 等					

○地域医療機関との連携した小児がん診療を行うために必要と思われるものを次の中から選んでください。
(最大3つまで)

- () 医療機関(病院)の診療機能に関する情報の公開
- () 医療機関(診療所)の診療機能に関する情報の公開
- () 医療機関の機能・役割の明確化
- () 患者の診療状況等に関する情報共有体制の整備、充実
- () 連携会議の開催
- () 患者、家族への相談支援体制の確保、充実
- () 小児がんの専門医や小児医療に携わる医師の確保
- () 小児がん専門の相談員の確保
- () その他

問7 小児がん診療の実態について

平成29年1月1日～平成29年12月31日の小児がん診療について(入院・通院患者全て)

* 下表に状況を記入してください。

⑧以外は、患者数で御回答ください。また、再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上してください。

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ウイルス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数												
② ①のうち初診数												
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数												
④ ②のうち県外他医療機関からの紹介数												
⑤ ②のうち非紹介数												
⑥ ②のうち、診断後、他の専門医療機関へ紹介 県内での紹介: 上段 県外への紹介: 下段												
⑦ ②のうち、自医療機関にて治療を実施												
⑧ ⑦の治療の内容 (複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

○問7の①の「その他」に該当する病名を御記入ください。

(例) 肺芽腫、卵巣腫瘍

○問7の③の医療機関名を御記入ください。

(例) ○○病院、△△クリニック

○問7の④の医療機関名を御記入ください。

(例) ○○病院、△△クリニック

○問7の⑥の他の専門医療機関名を御記入ください。

(例) ○○病院

問8 小児がん診療の実態について

平成30年1月1日～平成30年12月31日の小児がん診療について(入院・通院患者全て)

* 下表に状況を記入してください。

⑧以外は、患者数で御回答ください。また、再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上してください。

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ウイルス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数												
② ①のうち初診数												
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数												
④ ②のうち県外他医療機関からの紹介数												
⑤ ②のうち非紹介数												
⑥ ②のうち、診断後、他の専門医療機関へ紹介 県内での紹介: 上段 県外への紹介: 下段												
⑦ ②のうち、自医療機関にて治療を実施												
⑧ ⑦の治療の内容 (複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

○問8の①の「その他」に該当する病名を御記入ください。

(例) 肺芽腫、卵巣腫瘍

○問8の③の医療機関名を御記入ください。

(例) ○○病院、△△クリニック

○問8の④の医療機関名を御記入ください。

(例) ○○病院、△△クリニック

○問8の⑥の他の専門医療機関名を御記入ください。

(例) ○○病院

問9 成人期の小児がん患者の診療体制、診療状況について

○成人期の小児がん患者をどのように診療していますか。課題を含め、できるだけ詳しく現状を御記入ください。

- (例) ・20歳以上の患者を診る体制がないため年齢に達した時点で診療終了としている。他施設への紹介は行っていない。
紹介先が見つからないのが現状である。
・18歳以上の患者は自施設内の内科にコンサルテーションしながら、主担当科は小児科で診ている。

問10 妊孕性温存について

○小児がん患者が妊孕性温存を情報提供する状況・方法を選択してください。

お話しする状況

- () 治療内容・予後に関係なく患者・ご家族に妊孕性について触れる
() 治療内容・予後に応じて患者・ご家族に妊孕性について話すかどうか決定する

紹介先

- () 患者・ご家族にがん担当医師からお話しし、強い希望があった場合のみ紹介する
() 患者・ご家族に早い段階で産婦人科・泌尿器科機関を紹介する
() 患者・ご家族に早い段階で生殖医療機関を紹介する
() 患者・ご家族に早い段階でがん・生殖医療登録施設を紹介する

○小児がん患者が妊孕性温存を希望する場合、どのような対応をしていますか。
課題を含め、できるだけ詳しく現状を御記入ください。

- (例) ・白血病で入院中の患者が妊孕性温存を希望したが、産婦人科がない施設であったため、どのように情報提供をしたら良いか問題であった。
・マスターベーションの経験がない男児に、妊孕性温存目的に射精することをどのように教えるか問題になった。

問11 本調査結果の公表について

該当欄に○をしてください

① 集計処理をした上での公表について

- () 同意する
() 同意しない

② 県民等への情報提供を目的とし、問3～問9について、病院名を含め、回答した内容についての公表

- () 全て可能
() 一部可能 * 公表可能な内容について御記入ください。
() 全て不可能



(例)問1～問6、問9～問10

* 御協力ありがとうございました。

令和元年度小児がん診療に関する医療機関実態調査結果

(1) 調査目的

小児がん患者さんとそのご家族及び小児がん経験者の方が可能な限り慣れ親しんだ地域で治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくための基礎資料として、県内の医療体制の実態を把握する。

また、医療体制の実態を正確に把握するための定期的な情報の確認と更新として、調査を継続していく。(※平成27年度に第1回調査、平成29年度に第2回調査を実施した。本調査は、3回目の調査となる。)

(2) 調査対象

前回調査医療機関 30施設

今回調査医療機関 30施設 (内1施設新規) 別添対象医療機関一覧

※下記のいずれかに該当する県内医療機関

- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本小児血液がん学会研修施設
- 千葉小児整形外科グループ施設
- TCCSG 参加施設 (千葉県内)
- ちば医療なび/目的別検索/小児悪性腫瘍 (小児がん) 該当医療機関

(3) 調査期間

令和元年7月～8月

(4) 調査方法

郵送により調査票を送付、郵送・メールにより回収

2 調査結果

【回答状況】 28施設 回答率93.3%

※ただし、結果公開不可の4施設と一部公開不可2施設の公開不可該当箇所については下記の結果に含まない。

※各設問に対する公開数は下記のとおり。

	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
公開数	9	8	8	24	7	7	23	9
非公開数	3	2	2	4	3	3	5	3

【問3 小児がん診療体制について】

- 28施設のうち、調査対象とした疾患について、1つでも診断、治療を行っていると回答した医療機関は9施設であった（別紙1）。残る医療機関については、「小児がん診療は行っていない」、「疑い患者は診察後、他院へ紹介している」との回答であった。
- 調査対象とした疾患以外で「その他」として挙げられた病名は、中枢神経外胚細胞腫瘍、ユーイング肉腫、滑膜肉腫、軟部腫瘍であった。
- 主たる診療科としては、小児科、小児外科、血液腫瘍科等であった。

【問4・5 療養環境及び患者・家族支援について】

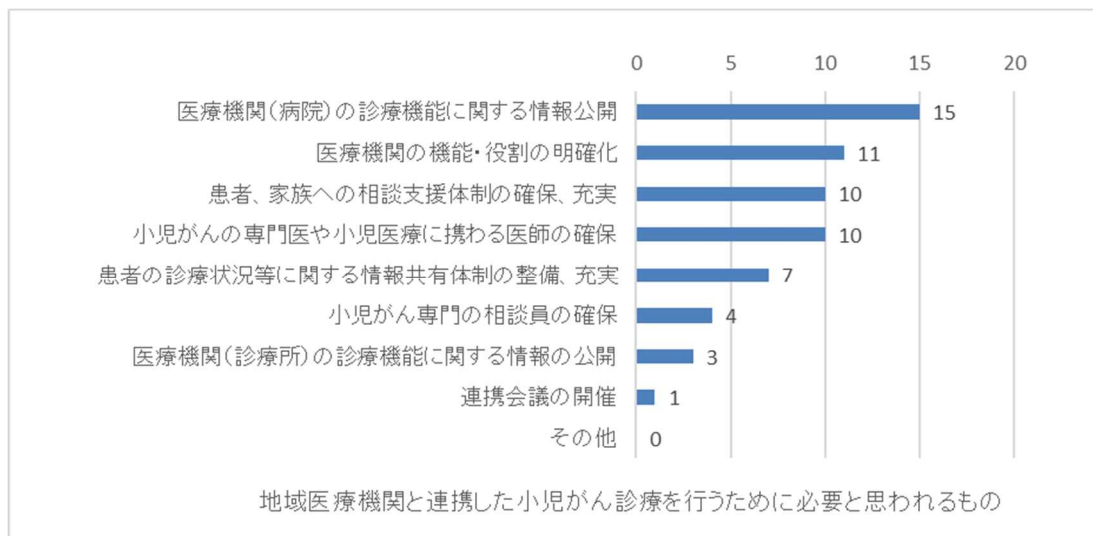
- 診断及び治療を行っているとは回答した医療機関8施設の療養環境及び患者・家族支援状況の回答を一覧としてまとめた（別紙2）。
- 家族等の宿泊施設が活用できる医療機関は2施設であった。

【問6 地域との医療連携について】

- 専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の診療について、自施設で何らかの診療が可能と回答した24施設のうち、予防接種の対応施設は22施設、風邪等の内科的症状の診療施設は21施設、けが等外科的治療の対応施設は18施設であった。その他歯科治療等は10施設が診療可能と回答している（別紙3）。

【問6 地域医療機関と連携した小児がん診療を行うために必要と思われるもの】

(最大3つまで回答可)



○最も多かったのは「医療機関(病院)の診療機能に関する情報公開」15件、次いで「医療機関の機能・役割の明確化」11件、「患者、家族への相談支援体制の確保、充実」、「小児がんの専門医や小児医療に携わる医師の確保」がそれぞれ10件であった。

【問7・8 千葉県の小児がん診療実績について】

○別紙4 各医療機関小児がん診療実績（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

○別紙5 各医療機関小児がん診療実績（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

※第1回調査では平成26年1月1日～平成26年12月31日の実績を把握し、第2回目調査で平成27年と平成28年の実績を把握した。

【問9 成人期の小児がん患者の診療体制、診療状況について】

○成人期の小児がん患者の診療状況は施設ごとに異なる（別紙6）。

【問10 妊孕性温存について】

○妊孕性温存に関する小児がん患者への情報提供について、5施設から「治療内容・予後に応じて話すか決定する」と回答があった（別紙7）。

3 調査結果の公表

県ホームページにて公表する

令和元年度 小児がん診療に関する医療機関実態調査 対象医療機関一覧

医療圏	No	病院名	①	②	③	④	⑤
千葉	1	千葉県こども病院	○	○	○	○	○
千葉	2	千葉大学医学部附属病院	○	○		○	○
千葉	3	千葉県がんセンター			○		○
千葉	4	千葉市立青葉病院	○				
千葉	5	千葉市立海浜病院	○				
千葉	6	千葉こどもとおとなの整形外科			○		
東葛南部	7	順天堂大学医学部附属浦安病院	○				
東葛南部	8	東京歯科大学市川総合病院	○				○
東葛南部	9	東京女子医科大学附属八千代医療センター	○				
東葛南部	10	東京ベイ浦安市川医療センター	○				
東葛南部	11	船橋市立医療センター	○				
東葛南部	12	社会医療福祉法人社団千葉県勤労医療協会 船橋二和病院	○				○
東葛北部	13	独立行政法人国立がん研究センター東病院					○
東葛北部	14	松戸市立総合医療センター	○		○	○	
東葛北部	15	千葉西総合病院	○				
東葛北部	16	キッコーマン総合病院					○
東葛北部	17	名戸ヶ谷あびこ病院					○
東葛北部	18	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院	○				
東葛北部	19	東京慈恵会医科大学附属柏病院	○				
印旛	20	成田赤十字病院	○	○		○	○
印旛	21	日本医科大学千葉北総病院	○	○		○	○
印旛	22	独立行政法人国立病院機構下志津病院	○				
印旛	23	東邦大学医療センター佐倉病院	○				
印旛	24	聖隷佐倉市民病院			○		
香取海匝	25	総合病院国保旭中央病院	○				
山武夷隅長生							
安房	26	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	○			○	○
安房	27	社会福祉法人太陽会安房地域医療センター					○
君津	28	国保直営総合病院君津中央病院	○				○
市原	29	帝京大学ちば総合医療センター	○			○	○
市原	30	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	○				

23 4 5 7 14

- ① 日本小児科学会専門医研修施設
 ② 日本小児血液・がん学会研修施設
 ③ 千葉県小児整形外科グループ施設
 ④ T C C S G (Tokyo children's Cancer Study Group)参加施設
 ⑤ ちば医療なび/目的別検索/小児悪腫瘍(小児がん)対応病院

問3 小児がん診療体制について

別紙1

※診療実績あり◎、診療可能○

		千葉県 こども病院	千葉大学 医学部 附属病院	千葉県 がん センター	順天堂大学 医学部附属 浦安病院	東京女子 医科大学 附属八千代 医療センター	松戸市立総 合医療セン ター	成田赤十字 病院	日本医科 大学千葉 北総病院	亀田 総合病院
白血病	診断	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎
	治療	手術	◎	◎						
		放射線	◎	◎					◎	○
		化学療法	◎	◎					◎	○
	入院	◎	◎					◎	○	
外来	◎	◎					◎	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科	小児科		小児科	小児科		小児科	小児科血液 専門外来	小児科
脳腫瘍	診断	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	
	治療	手術	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
		放射線	◎	◎	◎	◎		◎	○	○
		化学療法	◎	◎	○			◎	○	○
	入院	◎	◎	○			◎	○	○	
外来	◎	◎				◎	○	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科 脳神経外科	脳外科	脳神経外科 放射線治療部	脳神経外科	小児科 脳神経外科	小児脳 神経外科	小児科	小児科血液 専門外来	
神経芽細胞腫	診断	◎	◎		◎	○			◎	◎
	治療	手術	◎	◎						
		放射線	◎	◎						○
		化学療法	◎	◎					○	○
	入院	◎	◎					○	○	
外来	◎	◎					○	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科 小児外科	小児科		小児科 小児外科	小児外科		小児科	小児科血液 専門外来	小児科
悪性リンパ腫	診断	◎	◎		◎	○		◎	◎	
	治療	手術	◎	◎					○	
		放射線	◎	◎					◎	○
		化学療法	◎	◎					◎	○
	入院	◎	◎					◎	○	
外来	◎	◎					◎	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科	小児科		小児科	小児科 小児外科		小児科	小児科血液 専門外来	
網膜芽細胞腫	診断	○	◎			◎			◎	
	治療	手術		◎					○	
		放射線		◎					○	
		化学療法							○	
	入院							○		
外来							○			
主たる 担当診療科		眼科	眼科			小児外科		小児科	小児科血液 専門外来	
ウイルス腫瘍	診断	◎	◎		○	◎			◎	◎
	治療	手術	◎	◎					○	
		放射線	◎	◎					○	
		化学療法	◎	◎					○	
	入院	◎	◎					○	◎	
外来	◎	◎					○	◎		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科 小児外科	小児外科		小児科 小児外科	小児科 小児外科		小児科	小児科血液 専門外来	小児科
骨肉腫	診断	○	◎	◎	○	◎			◎	
	治療	手術		○	◎					
		放射線		◎	◎					○
		化学療法		◎	◎				○	○
	入院		◎	◎				○	○	
外来		◎	◎				○	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科 整形外科	小児科	整形外科	小児科 整形外科	小児科		小児科	小児科血液 専門外来	
横紋筋肉腫	診断	◎	◎	◎	◎	◎			◎	
	治療	手術	◎	◎	◎					
		放射線	◎	◎	○					○
		化学療法	◎	◎	○				○	○
	入院	◎	◎	○				○	○	
外来	◎	◎					○	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科	小児科	整形外科	小児科 小児外科	小児科		小児科	小児科血液 専門外来	
ランゲルハンス組織球症	診断	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	
	治療	手術	◎	◎	◎					
		放射線	◎	◎						○
		化学療法	◎	◎					◎	○
	入院	◎	◎					◎	○	
外来	◎	◎					◎	○		
主たる 担当診療科		血液腫瘍科	小児科	整形外科	小児科 皮膚科	小児科		小児科	小児科血液 専門外来	
その他	対応病名		中枢神経外胚細胞腫瘍 ユーイング肉腫	ユーイング肉腫 滑膜肉腫 軟部腫瘍	ユーイング肉腫					
	診断		◎	◎	○					
	治療	手術		◎	◎					
		放射線		◎	◎					
		化学療法		◎	◎					
入院		◎	◎							
外来		◎	◎							
主たる 担当診療科			小児科	整形外科 腫瘍血液内科	小児科 整形外科					

問4・5 療養環境及び患者・家族支援状況について

別紙2

※可能項目、該当項目に「○」 対応なし、該当なしは「空欄」

項目	千葉県 こども病院	千葉大学医学部 附属病院	千葉県 がんセンター	順天堂大学医学 部附属浦安病院	松戸市立総合 医療センター	成田赤十字病院	日本医科大学 千葉北総病院	亀田 総合病院	
療養環境									
面会時間	制限なし	14時～19時	13時～20時	14時～20時	6時～21時	15時～21時	12時～20時	両親 24時間可 他 10時～19時	
面会可能者	両親	○	○	○	○	○	○	○	
	兄弟姉妹	○		○			○	○	
	祖父母	○		○		○	○	○	
	親戚			○				○	
	その他制限等	・12歳以下× ・叔父叔母は協議	両親のみ			兄弟は 15歳以上			12歳以下×
付添い	不要	○							
	希望で24時間可能	○	○	○	○		○		
	24時間必要					○		○※3	
	夜間必要					○			
	その他		就学前児は24時間 必要				就学前は要付添い		小児科準無菌室に 1人でいられる 年齢のみ
面会制限の特例 (患児がターミナルの場合の 対応について)	患児・家族の希望 に添えるようにして いる	ターミナル時は別に 相談	成人患者がターミナル の場合と同様の 対等を取る、特例 はなし。	状況に応じて面会 者、面会時間を変 更している。	制限なし			12歳以下の兄弟姉 妹を入室可とする	
入院可能年齢(歳)	0～18※1	0～18	6歳～	0～15	小児科には 制限なし	21未満	0～20	0～15	
(小・中) 教育支援	院内学級	○	○						
	分教室	○	○						
	訪問教育			○					
	ベッドサイドでの授業	○	○	○	○	○	○	○	
高校生への 教育支援	院内学級	○	○						
	分教室	○	○						
	訪問教育			○					
	ベッドサイドでの授業	○	○	○	○	○	○	○	
学習への 小児がん患児への配慮	毎朝看護師から院 内学級の教員に報 告し、情報共有を 行っている。復学 時、学習の遅れが ないように授業内 容を精選している。	夜間に面談室を自 習室として使用可 能	学校とのカンファ レンスをを行い、治療と 両立させている。	疾患に関わらず、2 週間以上入院する 児へ訪問授業が可 能。(市区町村によ る)		クリーンルームから 出られない患児に 対し、教師がクリー ンルームに向いて 授業を行う等		状態に応じてベッド サイドで可能(準無 菌室内を含む)	
病棟保育	○	○			○			○	
配属状況	保育士	○	○			○		○	
	配置状況	月～金 8:30～20:30	月～土 9:00～19:00			常時		週5日(1名)	日勤(毎日) 準夜(月10回)
	公認心理士	○					○		
	配置状況	月～金 8:30～17:15					兼任2名		
	臨床心理士	○	○					○	
	配置状況	月～金 8:30～17:15	月～金 9:00～17:00	月・水・木・金 9:00～16:00 火 9:00～17:00				水・木(2名)	
	CLS	○							
	配置状況	月～金 8:30～17:15							
	HPS								
	配置状況								
	緩和ケア 認定看護 師	○	○	○	○				
	がん化学療法		○	○					
がん性疼痛			○			○			
がん放射線療法			○						
専門看護 師	○	○	○	○	○				
がん看護			○	○					
小児看護	○	○	○	○	○				
家族支援	○	○	○	○	○				
緩和ケアチ ーム	○	○	○	○	○	要望あれば対応	○		
チーム構成	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 PT CLS	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 PT	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 PT	医師 看護師 臨床心理士	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 MSW	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士	医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 栄養士 PT	

患者・家族支援

相談窓口	名称	成人期以降木支援 室/こども・家族支 援センター 他	がん相談支援 センター	がん相談支援 センター	がん相談支援 センター	がん診療対策室	医療福祉相談室	がん相談支援 センター	がん相談支援 センター (総合相談室内)
電話		043 292-2111	043 226-2698(直)	043 264-6801	047 353-3111(代) 382-1341(直)	047 712-2511	0476 22-2311 内線7122	0476 99-2057	04 7099-2211(代)
対応可能時間		月～金 8:30～17:15	平日 月～金 9:30～16:30※2	月～金 (祝祭日除く) 9:00～17:00	月～金 9:00～16:30 土 9:00～12:30	月～金 8:30～17:00	月～金 9:00～16:30	月～金 9:00～16:00 土 9:00～15:00	月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:00
対応できる 相談内容	医療費	○	○	○	○	○	○	○	○
	福祉制度	○	○	○	○	○	○	○	○
	入院生活	○	○	○	○	○	○	○	○
	就学	○	○	○	○	○	○	○	○
	就労	○	○	○	○	○	○	○	○
	セカンドオピニオン	○	○	○	○	○	○	○	○
	家族きょうだいの生活	○	○	○	○	○	○	○	○
退院後の生活	○	○	○	○	○	○	○	○	
宿泊施設		○ 敷地内							○ 近隣
施設名		かるがもはうす							ハレオハナ
費用		有料							有料
患児兄弟姉妹の預かり施設		○ 施設内							
費用		無料							
家族休憩室		○							○
利用条件		ICU、NICU							
費用		無料							無料

※1 当院がかかり
つけの場合は
制限なし

※2 電話及び面接
での対応のみ

※3 12歳以下の
お子様は除く

問6 地域との医療連携状況について

○専門的な治療を終えた患者の予防接種や風邪・けがといった時の診療、地域医療機関との連携体制について

- ①自施設での診療が可能な場合は○
 ②他院への紹介体制がある場合は○(文書によるもの)又は◎(文書若しくは口頭によるもの)
 ③他院からの紹介体制がある場合は○(文書によるもの)又は◎(文書若しくは口頭によるもの)
 ※網掛け医療機関は、小児がん診療を行っていないと回答した施設

医療機関名	予防接種			風邪等の 内科的症状			けが等の 外科的治療			その他 歯科治療等		
	① 自施設 での 診療	② 他院へ の紹介 体制	③ 他院か らの紹介 体制	① 自施設 での 診療	② 他院へ の紹介 体制	③ 他院か らの紹介 体制	① 自施設 での 診療	② 他院へ の紹介 体制	③ 他院か らの紹介 体制	① 自施設 での 診療	② 他院へ の紹介 体制	③ 他院か らの紹介 体制
1 千葉県こども病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 千葉大学医学部附属病院		○	○		○	○		○	○		○	○
3 千葉県がんセンター		○			○			○			○	
4 千葉市立青葉病院	○		○	○		○	○	○	○	○※1	○	○※1
5 千葉こどもとおとなの整形外科	○						○	○	○			
6 順天堂大学医学部附属浦安病院	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎			
7 東京女子医科大学附属 八千代医療センター	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
8 東京ベイ浦安市川医療センター	○		○	○		○	○		○			○
9 船橋市立医療センター	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎
10 船橋二和病院	○※2		○	○※2		○	○※2		○			
11 国保松戸市立病院	○		○	○		○	○		○	○		○
12 千葉西総合病院	○	○	○	○	○	○						
13 キッコーマン総合病院	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎			
14 戸名ヶ谷あびこ病院	○	○	○	○	○	○		○				
15 東葛病院	○	○	○	○	○	○						
16 東京慈恵医会医科大学附属柏病院	○	○	○	○	○	○	○※3					
17 成田赤十字病院	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
18 日本医科大学千葉北総病院	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
19 下志津病院	○		○	○		○	○	○	○		○	
20 聖隷佐倉市民病院	○	◎	◎	○	◎	◎						
21 国保旭中央病院	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
22 亀田総合病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 安房地域医療センター	○			○			○					
24 千葉労災病院	○		○	○		○	○		○※4	○		○※4

※1 年齢により可能

※2 専門施設から当院への情報提供書が必要

※3 外科にて対応

※4 電話紹介で他科へ取次可能。他科宛での紹介状が必要

平成29年実績

千葉県こども病院

問 7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルミス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		194	88	29	42	6	14	2	17	23	39	454
② ①のうち初診数		6	7	1		1				2	2	19
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		5	6	1		1				2	2	17
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術		○	○						○	○	
	イ 放射線治療		○									
	ウ 化学療法	○	○	○						○	○	
	エ 緩和ケア	○	○									
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

卵巣未熟奇形腫、精巣胚細胞腫瘍、肝芽腫、副腎悪性腫瘍、卵黄のう腫瘍、悪性縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

鎌ヶ谷中央病院、千葉市休日救急診療所、松戸市民病院、三枝医院、東京女子医科大学付属八千代医療センター、奏の杜すずらん皮膚科、おおた小児科、そがこどもクリニック、くぼたこどもクリニック、千葉県がんセンター、亀田クリニック

患者の紹介を受けた県外医療機関名

Miller Children's Hospital Long Beach、東京慈恵会医科大学附属病院

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

平成29年実績

千葉大学医学部附属病院

問 7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
② ①のうち初診数		6	1	1	2		2		1	2	2	17
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		6	1	1	2		2		1	2	2	17
②の治療の内容(複数回答可能)	ア 手術		○	○			○		○		○	
	イ 放射線治療	○		○					○			
	ウ 化学療法	○		○	○				○	○		
	エ 緩和ケア	○		○					○			
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

ユーイング肉腫

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

千葉市立海浜病院など

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

平成29年実績

千葉県がんセンター

問7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数			6	1	2			6			4	19
② ①のうち初診数			2	1	2			1			2	8
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数			2	1	2			1			2	8
②の治療の内容(複数回答可能)	ア 手術		○					○				
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法							○				
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

低悪性線維粘液肉腫、悪性末梢神経鞘腫、骨ユウイング肉腫、平滑筋肉腫、MPNST

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

千葉県こども病院、千葉こどもとおとなの整形外科、船橋市立医療センター、東京女子医科大学附属八千代医療センター

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

千葉県こども病院、東京女子医科大学附属八千代医療センター、国立がん研究センター中央病院

平成29年実績

順天堂大学医学部附属浦安病院

問7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルミス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		3	6	1							2	12
② ①のうち初診数		2	3								1	6
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		2	2									4
②の治療の内容(複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

悪性リンパ腫、肝芽腫

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

井上こどもクリニック、こんどうこどもクリニック、吉田こどもクリニック、明海小児科

患者の紹介を受けた県外医療機関名

はるえ小児科

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

国立国際医療センター、順天堂医院

平成29年実績

成田赤十字病院

問 7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		151		1	21						7	180
② ①のうち初診数		7			2						2	11
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		5			2						1	8
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術	○			○							
	イ 放射線治療	○										
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

小腸癌、髄芽腫、肝細胞癌、両脛骨遠位端転移性骨腫瘍、左精巣悪性腫瘍、右大腿骨転移性骨腫瘍、左腎芽腫

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

山王病院、日本医科大千葉北総病院、八街こどもクリニック、小田内科医院、聖隷佐倉市民病院、東京女子医科大学八千代医療センター、国保旭中央病院、

患者の紹介を受けた県外医療機関名

福島県立医科大学附属病院、神栖済生会病院

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

千葉大学医学部附属病院、京野アートクリニック高輪

平成29年実績

日本医科大学千葉北総病院

問7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数												0
② ①のうち初診数												0
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数												0
②の治療の内容(複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

--

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

--

患者の紹介を受けた県外医療機関名

--

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

--

平成29年実績

亀田総合病院

問7 小児がん診療の実態について

※平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数												0
② ①のうち初診数												0
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数												0
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

--

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

--

患者の紹介を受けた県外医療機関名

--

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

--

平成30年実績

千葉県こども病院

問 8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		201	84	34	42	7	14	4	13	30	37	466
② ①のうち初診数		9	6	3	2	1				3	2	26
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		9	6	3	2	1				3	2	26
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術	○	○							○	○	
	イ 放射線治療		○	○								
	ウ 化学療法	○	○	○	○					○		
	エ 緩和ケア	○	○									
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

S 状結腸癌、肝芽腫、卵黄のう腫瘍、胎児性精巣腫瘍、卵巣未熟奇形腫、悪性縦隔腫瘍、副腎悪性腫瘍、転移性肺癌

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

日本医科大学千葉北総病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、帝京大学ちば総合医療センター、千葉大学医学部附属病院、旭中央病院、千葉西総合病院、千葉県がんセンター、千葉市立海浜病院、東京歯科大学市川総合病院、亀田クリニック、山之内病院、奏の杜すずらん皮膚科、船橋市立医療センター

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

大阪市立総合医療センター

平成30年実績

千葉大学医学部附属病院

問 8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
② ①のうち初診数		5		3	3						3	14
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		5		3	3						3	14
②の治療の内容(複数回答可能)	ア 手術			○							○	
	イ 放射線治療			○								
	ウ 化学療法	○		○	○						○	
	エ 緩和ケア	○		○	○							
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

炎症性筋線維芽細胞腫 (IMT)

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

海浜病院、松戸市立病院

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

国立がんセンター中央病院

平成30年実績

千葉県がんセンター

問8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		3	4	1	4			8		3	3	26
② ①のうち初診数		3	2	1	4			4		3	3	20
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		3	2	1	4			4		3	3	20
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術		○					○		○	○	
	イ 放射線治療		○									
	ウ 化学療法		○					○			○	
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

滑膜肉腫、松果体芽腫、松果体未分化胚細胞腫

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

ちば整形外科、旭中央病院、君津中央病院、国立病院機構下志津病院、小見川ひまわりクリニック、千葉きぼーるクリニック、千葉県こども病院、千葉市立青葉病院、千葉労災病院、幕張整形外科

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

千葉県こども病院、国立病院機構千葉東病院、国立がん研究センター中央病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東京慈恵会医科大学附属病院、神奈川県立こども医療センター

平成30年実績

順天堂大学医学部附属浦安病院

問 8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルミス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		2	6	2							2	12
② ①のうち初診数		1										1
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		1										1
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

肝芽腫、骨盤内肉腫

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

金子小児科

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

順天堂医院

平成30年実績

成田赤十字病院

問 8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		168		2	23						5	198
② ①のうち初診数		23		1	1						3	28
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数		14		1	1						1	17
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術	○		○	○						○	
	イ 放射線治療	○										
	ウ 化学療法											
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

小腸癌、髄芽腫、右大腿骨転移性骨腫瘍、細網肉腫、肝芽腫

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

県立こども病院、渡辺小児科医院、日本医科大学千葉北総病院、公津の杜メディカルクリニック、東京女子医科大学八千代医療センター、船橋二和病院、いけい耳鼻咽喉科クリニック、みやび耳鼻咽喉科クリニック、松戸市立総合医療センター、国保旭中央病院、国保多古中央病院、千葉市立海浜病院、粕谷内科医院、東邦大学医療センター佐倉病院、土浦協同病院

患者の紹介を受けた県外医療機関名

仲沢医院、宮城県立こども病院、JAとりで総合医療センター、五郎台ファミリークリニック、埼玉県小児医療センター、白十字総合病院、

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

千葉大医学部附属病院

平成30年実績

日本医科大学千葉北総病院

問 8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数		3										3
② ①のうち初診数		3										3
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数												0
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術											
	イ 放射線治療											
	ウ 化学療法	○										
	エ 緩和ケア											
	オ その他											

①の「その他」に該当する病名

--

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

--

患者の紹介を受けた県外医療機関名

--

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

千葉県こども病院、成田赤十字病院

平成30年実績

亀田総合病院

問 8 小児がん診療の実態について

※平成30年1月1日～平成30年12月31日の間に入院もしくは通院のあった小児がん数

注) 再発例は別カウントとし、改めて患者数を計上している

		白血病	脳腫瘍	神経芽細胞腫	悪性リンパ腫	網膜芽細胞腫	ケルムス腫瘍	骨肉腫	横紋筋肉腫	ランゲルハンス組織球症	その他	計
① 患者数												0
② ①のうち初診数												0
③ ②のうち県内他医療機関からの紹介数												0
②の診療の内容(複数回答可能)	ア 手術											/
	イ 放射線治療											/
	ウ 化学療法											/
	エ 緩和ケア											/
	オ その他											/

①の「その他」に該当する病名

③の患者紹介を受けた県内医療機関名

患者の紹介を受けた県外医療機関名

必要な治療等のために患者を紹介した専門医療機関名

問9 成人期の小児がん患者の診療体制、診療状況について

別紙6

No	施設名	状況について
1	千葉県こども病院	基本的にJCOG(日本小児がん研究グループ)の治験研究委員が主催する臨床研究に登録できる患者であれば15歳以上でも診療は行っている。(18歳以下Or20歳以下が多い。) 15歳以下で発症、外来フォローしている患者が、16歳を超えて再発した場合、入院させる場合が多いが、例えば明らかに小児の年齢を超えている年齢(25歳以上など)や、患者が成人科を希望する場合はその限りではない。 当院で初診なおかつ20歳以上の場合は原則お断りしている。
2	千葉大学医学部附属病院	初発治療は行っていない。治療終了後のフォローアップは小児科で行っているが、合併症の治療自体は該当成人診療科で診療してもらっている。
3	千葉県がんセンター	【腫瘍・血液内科】 他施設で診断・治療された患者さんが成人に達した場合に診療を引き継ぐことはあります。小児の血液疾患を最初から自施設で診療することはありません。 【整形外科】 当院では小児科はなく、整形外科にてがんの患者さんをみています。したがって、6歳以上の骨肉腫などの肉腫患者さんはすべて当院でみています。ただし、横紋筋肉腫は当院腫瘍血液内科で抗がん剤治療を行ってもらっています。治療後の経過観察に関しては骨肉腫患者さん、ユーイング肉腫患者さんは、化学療法や放射線治療晩期の障害の可能性もあり、できる限り毎年一回経過観察を行っていますが、実際には十年を超えると経過観察率は50パーセント以下となっているのが現状です。
4	千葉市立青葉病院	診療は行っていない。
5	千葉こどもとおとなの整形外科	小児がん診療は行っていない。
6	順天堂大学医学部附属浦安病院	18才以降のどこかの時点で、自施設内の内科へ移行している。
7	東京女子医科大学附属八千代医療センター	現在、成人期の小児がん患者はいない。
8	東京ベイ浦安市川医療センター	当院では診療していません。
9	船橋市立医療センター	20歳以上の患者を診る体制がないため、年齢に達した時点で診療終了としている。
10	船橋二和病院	小児白血病で成人になった方は定期診療し、再発がないかどうかフォローしている。必要時、小児科の白血病専門医(こども病院)にコンサルトしている。
11	国保松戸市立病院	小児脳神経外科では今までに希望があった実例がないが、ある場合は生殖医療機関を紹介する。小児脳神経外科以外の新規小児がん患者の診療は行っておらず、当院から妊孕性について案内することがない。
12	千葉西総合病院	《記載なし》
13	キッコーマン総合病院	現在、成人期の小児がん患者はいない。
14	戸名ヶ谷あびこ病院	対象となる患者はいません。
15	東葛病院	当院では、血液腫瘍専門医が残念ながら不在ですので、外来化学療法はやれてますが、あくまで成人のみです。小児がんは経験がないと思われます。
16	東京慈恵会医科大学附属柏病院	当科では血液・腫瘍専門小児科医が長期にわたり不在のため、現在、血液腫瘍関連の患者はキャリアオーバー症例も含めて管理は行っていない。今後も予定は特にないような状況です。
17	成田赤十字病院	20歳以上でも、自施設で診療しています。合併症、その他により、自施設他科に依頼する症例もあります。また、転居、就職などで他施設に紹介する症例もあります。
18	日本医科大学千葉北総病院	18歳以上の患者は自施設内の内科にコンサルテーションしながら、主担当科は小児科で診ている。
19	下志津病院	小児がん患者の診療をしていないので、成人期に移行した症例もない。
20	聖隷佐倉市民病院	診療していない。
21	亀田総合病院	腫瘍内科にて診断・加療。
22	安房地域医療センター	当院では行っておりません。
23	千葉労災病院	診療していません。

問10 妊孕性温存について

別紙7

○小児がん患者に妊孕性温存を情報提供する状況・方法

No	施設名	話す状況		紹介先			妊孕性温存を希望する場合の対応について	
		治療内容・予後に関係なく話す	治療内容・予後に応じて話すか決定する	がん担当医師から話し、強い希望があった場合のみ紹介する	早い段階で産婦人科・泌尿器科機関を紹介する	早い段階で生殖医療機関を紹介する		早い段階でがん・生殖医療登録施設を紹介する
1	千葉県こども病院		○			○		記載あり
2	千葉大学医学部附属病院		○				○	記載あり
3	千葉県がんセンター		○	○				記載あり
4	順天堂大学医学部附属浦安病院	○				○		記載あり
5	東京女子医科大学附属 ※1 八千代医療センター							記載あり
6	松戸市立総合医療センター	○				○		記載あり
7	成田赤十字病院	○			○			記載あり
8	日本医科大学千葉北総病院		○	○				記載あり
9	亀田総合病院		○			○		

※1 話す状況、紹介先について記載なし

○妊孕性温存を希望する場合の対応について

No	施設名	対応状況
1	千葉県こども病院	初発時にすでに造血幹細胞移植適応とされる、血液悪性腫瘍疾患、固形腫瘍の患者で、CDDP、CYなどの相当量の薬剤が投与された患者の場合、妊孕性温存の処置を考える。 男児で精子採取可能な児 → 千葉市内のARTを行っており、精子保存してくれる開業医に紹介 思春期女児(初経以降) → 千葉県内または都内で未受精卵保存、卵巣凍結保存を行ってくれる施設を紹介
2	千葉大学医学部附属病院	県外専門病院に卵巣保存を依頼している。自由診療であり高額である。思春期女子の心理的抵抗への配慮など
3	千葉県がんセンター	婦人科では今まで経験がない。
4	順天堂大学医学部附属浦安病院	他施設で治療中の患者が、当院産婦人科へ紹介となり、産婦人科での手術の際の輸血等の判断を当科で行った。
5	東京女子医科大学附属 八千代医療センター	当院では対応していない
6	松戸市立総合医療センター	小児神経外科では今まで希望があった事例がないが、ある場合は生殖医療機関を紹介する。小児脳神経外科以外の新規小児がん患者の診療は原則行っておらず、当院から妊孕性について案内することがない。
7	成田赤十字病院	白血病の場合、女性の場合、卵子温存、卵巣保存が難しい症例がある。
8	日本医科大学千葉北総病院	産婦人科、泌尿器科と相談して決める